

神戸IDAHO2017 報告書

2017年5月27日(土)実施

当日の流れ

11:00~11:30ごろ

- ・ スタッフからのあいさつ
- ・ アンケート/グランドルールの配布
- ・ グランドルール、諸注意の共有
- ・ 自己紹介タイム
- ・ メッセージ投稿のお願い
- ・ カンパのお願い

11:30~15:30ごろ

- ・ メッセージ読み上げ

- ・ タペストリー、手旗の掲示
- ・ カンパ集め
- ・ チラシ配り
- ・ お手製メッセージフラッグへの寄せ書き

15:30~15:40ごろ

- ・ 集合写真

15:40~16:00ごろ

- ・ みんなでゴミ拾い

参加者数

- 当日参加者数 44人
- [内訳]アンケート回収人数 36人、アンケート未回収人数 5人、スタッフ 3人
- チラシ配布枚数 約300枚

どこから来ましたか？

- 神戸市内 15人
- 神戸市内以外の兵庫県 6人
- 兵庫県以外 京都府(2)、奈良県(2)、大阪府(7)、北九州市(1)、香川県(2)、不明(1)
- 無回答 0人

年代

- 10代 2人
- 20代 15人
- 30代 6人
- 40代 7人
- 50代 5人
- 60代以上 1人
- 無回答 0人

参加者のセクシュアリティ (本文まま)

- 女性(4)、男性(3)、シス/パン、パンセクシュアル、ゲイ、トランスジェンダー(2)、自分、シスジェンダー、クイア/バイセクシュアル、バリヘテ、Xジェンダー/ポリアモリー/パンセク(2)、TSM+FL、FTM未治療、非当事者、ゲイ、X(2)、わからない、ストレート、バイセクシュアル/ジェンダーフリーード/ノンコフォーミング、ノンケ、女性が好きな女性、レズビアン、トランス/バイ
- 無回答 5人

神戸IDAHO参加回数

- ・ 初めて 24人
- ・ 2回目 4人
- ・ 3回目以上 7人
- ・ 無回答 1人

何で知りましたか？ (複数回答可)

- ・ ツイッター 7人
- ・ Facebook 2人
- ・ Instagram 0人
- ・ 友人・知人 24人
- ・ セクシュアルマイノリティのコミュニティ 3人
- ・ ラジオ 1人
- ・ 新聞 1人
- ・ クラウドファンディング 1人
- ・ 通りがかり 2人
- ・ その他 2人
- ・ 無回答 1人

来年も参加したいですか？

- ・ はい 28人
- ・ いいえ 0人
- ・ どちらともいえない 3人
- ・ 無回答 5人

印象に残ったエピソードを 教えてください①

- 女性→男性、男性→女性どちらかに当てはまるのかと思っていたので、どちらでもないと悩んでいるのだと知り驚いた
- おじいさんが一生懸命うれしそうに話してくれた
- チラシを配っていたら質問されて「女の人が女の人を好きになるの？おもしろいわね。」と言われたこと
- チラシを配って「LGBTのことね」と知っているアピールをしてもらえたこと。社会に知識が浸透しつつあると感じた
- あったかく聞いてくださる人とかいてよかったです

印象に残ったエピソードを 教えてください②

- ・ チラシを受け取ってくれた、外国の人にももらってくれた
- ・ もっとたくさんの方に知らせる機会を作しましょう
- ・ チラシかわいい！みんなおしゃれ。④番いい？
- ・ 一緒におどってくれる通行人さんがいて嬉しかった。また来たい！
- ・ 2年前よりも参加者が多くて楽しい雰囲気だった！
- ・ 参加者がたくさんいておどろきました
- ・ ごあいさつできてよかったです

印象に残ったエピソードを 教えてください③

- ・ 今回は知り合いやか家族にセクシュアルマイノリティがいる人が声をかけてくれる数が多かったと思う
- ・ 街の一風景になっているのがステキでした
- ・ 若い方ばかりでもっと上の世代の声が必要だと思いました。思っていたより地味でした
- ・ 神戸でこのような集まりがあることが印象的でした
- ・ 毎年、一年に一度でも虹色の旗を見るとホッとします
- ・ タペストリーとかすごくかわいかった。International day against homophobia transphobia とのことですが、英語サイトにbiphobiaも入っているので入れてほしい
- ・ 良い雰囲気でした！

参加者から届いた メールの感想

初めて今回のIDAHOに参加しました。事前に2回あった交流会に参加できなかったもので、本番当日に参加された方同士で、終了後に打ち上げ的なもので交流したいと思いました。楽しかったです。スタッフのみなさん、ありがとうございました。

※掲載許可を取って要約しています

参加者から届いたメールの感想

当日朝起きた時点から開催場所に着くまで、とてもとてもハッピーに活動しようという気分ではなかった。あれは緊張からか、行きたいのに行きたくない気持ちだった。お気に入りのTシャツに着替え、手首にレインボーのミサンガを付けて出発。移動中、セクマイと思われること自体は覚悟してたしそのリスクは怖くなかったけど、いざ身に付けてみると人目が気になって緊張した。でも、こういうイベント時ぐらいはそういう心理的負担を引き受けてでも「シグナル」を発したい、という思いがある。ちょっと勇気をもらって、いつもより多く「シグナル」を出せる、そんな日があることが嬉しい。12時ごろ開催場所に着くと、「あ、やってるやってる」。この瞬間も嬉しい。参加者になる前の通行人としてパワーをもらう。着いてしまえば緊張は多少薄れ、家を出るまでの「行きたくない」気分を乗り越えて来て良かったと思い始める。

今年の特徴的印象としては、やはり取材があると色々変わるな、という感じがした。

樹になったつもりで、立つ意味はあると信じてビラ配りをせずに旗をもち続けた。

沖縄辺野古に関する演説をしてる団体の人たちとも少し話した。「LGBTだって」「ああ、LGBT」とか、「LGBT分かんねん」と言ってビラをもらいに来たりとか、比較的高齢の方の反応が見れたのは私にとってレアだった。

通行人の賛同はやはり嬉しかった。普通にパツと通ってビラを受けとりながら立ち止まらず「頑張ってください」と言い残す人。今年は、手でグッドサインをして、「you are hero. you are brave.」みたいなことを言ってくれた人もいた。もちろん、賛同者だけでなく、ビラをもらって歩きながら読んでくれてたりするだけで「よし」と思ったり。高校生男子数人組が「チラシもらっちゃったし」と笑いながら通り過ぎて行っても、「ホモ探し」でなくどうか良いほうに転びますようにと祈った。車椅子に乗った人とそれを押す介助者も何回か見かけたが、介助者だけでなく、車椅子に乗った人にもビラを渡そうとしていたときがあったのはそういうとき一般的には「存在無視」しがちだから、とても良いと思った。

しゃがみこんでゴミを拾うのはハードルが高いので、「ゴミ拾い」と書いた腕章など、一時的な格好としてゴミ拾いをするほうがいいのではないかな。

クラウドファンディングへの批判については、神戸IDAHOの設定目標金額の根拠についての情報提示は「パーフェクト」ではなかったと思うが、そもそも活動家がパーフェクトでないといけないうルールは非現実的で有益でないし、その「拙さ」を上回る信頼・信用が神戸IDAHOや代表者にはあったからお金が集まったのだと思う。信用ほど得難いものは無い。そこを誇るべきだと思います。

※掲載許可を取って要約しています

総括-1

[取材対応]いままで出したことのなかったプレスリリースを出したこともあり、取材が多かった。終日取材対応に追われることになってしまった。取材では神戸IDAHOの7年目、来年への想い、社会の変化、路上アクションの意義などを質問された。取材でも行政が扱うことの意義を話したが、神戸市社協の広報誌にとりあげてもらえることはとても大きな意義がある。写真に写って大丈夫な人に黄色い名札をつけてもらったため取材用写真がスムーズに行えた。しかし、当日飛び込みの取材や個別インタビューがあり、注意喚起が十分にしきれない場面もあり、不安な思いをした参加者もいた。また、黄色い名札をつけている人とそうでない人との間に境界線ができてしまったように思う。来年からは取材可能な時間を明確に分けて対応したい。

[体制]今年初めてスタッフを2名頼んだ。長年参加している人も増えてきており、例年より進行がスムーズだった。クラウドファンディングがあったため準備期間も長く、スタッフ間で当日の不安が共有できていたことは大きかった。

[ラジオ出演について]新聞を見てさくらFMから出演の声がかかった。いままで活動の場に来ていなかった友人がラジオを通して理解を深めてくれたり、当日ラジオを聞いてきてくれた参加者の人もいた。来年はラジオ局へプレスリリースを出したいと思う。

[掲示物]今までは掲示物が重く大きかったため、掲示物を持つ人とチラシ配りの人が分かれてしまいがちだったが、タペストリー、手旗が軽く持ちやすく、チラシを配りながら持てるのでよかった。資金を使って製作したタペストリーやグッズの評判がとてもよかった。三角フラッグではポリアモリー、Aセクシュアル、バイセクシュアル、トランスジェンダー、レインボー、オリジナルマーブルフラッグを作った。参加者同士が種類を尋ねあいながらどのフラッグを持つか選んでいる様子は微笑ましかった。

総括-2

[マイク]マイクの音が他の団体よりちいさいため、来年は音量の大きなポータブルマイクを2台購入したいと思う。そうすることで2名でラジオのように声を掛け合いながら話すことができる。

[カンパ]警察への申請の都合で机を用意できなかったため、カンパグッズの受け渡しが大変だったが、多くの方がクラウドファンディングのグッズをもとめてくれ、カンパが集まりやすかった。クラウドファンディングでグッズを作れたことの効果を感じた。

[読み上げた文章]ホームページに読み上げ用文章を用意し、はじめてのひとも台本ありで話しやすいようにしたため、8名程度でマイクを回すことができた。

[参加者の感想]さいごに1人ずつ(※パスあり)で感想を述べてもらった。一様に最初は緊張していたがだんだん打ち解けられて和やかな雰囲気を楽しめたと言った感想が多かった。またセクシュアルマイノリティの集まりが初だったという人が、「こんなにたくさんセクシュアルマイノリティはいるんだと思って嬉しかった」と感想をのべてくれたことも良かった。

[印象に残った場面]テキサスからの旅行中の夫婦がめいがレズビアンで、アメリカでもまだまだ理解があるとは言えないが日本でこんなアクションがあったと伝えたいと写真を撮っていつてくれた。

[クラウドファンディング]クラウドファンディングに初挑戦し、意見の相違からやっぱ愛ダホ！net.から脱退してしまったことは残念だった。しかしクラウドファンディングを通して70近い人たちから声援をもらえたことで、例年私は準備期間中孤独との戦いだったが、今年は「ひとりじゃない」と思えた。実際に当日を迎えるまではクラウドファンディングを後悔したこともあったが、当日すべて終わった瞬間に、クラウドファンディングをやってよかったと思えた。それは何より力強い応援団が側についていると思えたからだ。

スタッフ感想-1

〔準備について〕私自身は、神戸IDAHOの参加は、5年前からで、今年で4回目である(去年は諸用につき不参加)。今まで毎年手伝えることは手伝ってきたが、スタッフとして関わるのは初めてであった。正直、しんどかったり、スタッフ各々も精神面での波があったり、大変だったこともたくさんあったが、3人で当日を迎えられて本当に良かったと思った。同時に、今まで1人でやってきていた小林は本当に大変だっただろうと思った。少しでも助けになっていれば嬉しいと思う。

〔交流会について〕スタッフの間では、「誰も来なかったらどうしよう」と心配していたが、2回開催し、それぞれ10人前後の方が来てくださって、和気あいあいとした雰囲気が出来たのは良かったと思う。中には、セクシュアルマイノリティの集まりに来たのが初めて、という方や、遠方からの参加もあり、開催して良かったと思った。フラッグ作りは1回目の交流会の序盤で終わり、あとは座談会になったが、1回目の時は初対面の人も多く、なかなか話をしにくかった。そのため2回目ではトークテーマを書いた紙を準備して、話が弾んだのは良かったと思う。

〔印象に残った場面〕ある通りすがりの方が、「男でも女でも、性別がなんだって良いやん！」と言ってくくださったこと。近づいてこられた時は、「もしかしたら批判されるかも…」と思ったが、その言葉を聞いて、すこし涙ぐんでしまった。こういう言葉が直接聞けるのも、IDAHOの路上アクションの醍醐味の一つだと思った。

スタッフ感想-2

[当日について] 正直ほとんど余裕がなかった。しかし、参加者の方々が積極的に動いてくださったのでとても助かった。私は主にマイクとアンケートの配布を担当した。マイクの音量が小さく、声のボリュームを上げなければならないこと、また、1人でしばらくの間読み上げを行うため、1回の読み上げで体力を消耗しやすかったのではと、振り返って思う。1人での読み上げは、少し心細い面もあるので、小林も言っているが、ポータブルマイクがあれば、2人で掛け合いが出来るし、もし詰まったりしても、もう1人がサポート出来るので、良いのではと思う。また、今年は読み上げる文章があったことで、マイクを握っている時にしどろもどろにならずに済んだし、参加者の方もマイクでの読み上げに参加しやすかったのではと思う。アンケートについては、誰かと話している間に来てくださった方など、何人かに配りそびれてしまった。新しい参加者の方がきたら、スタッフに声をかけてもらおうと同時に、アンケートを配らなければならないことを、他の人にも知っておいてもらおうと良かったかもしれないと思う。また、一つ心残りなのは、スタッフとなると参加者の方となかなか話す時間がなかったことである。また、終わった後の疲労がすごかった。これは今年はスタッフであったということも関係しているであろう。しかし、今年は休憩時間がそんなになかったのも関係しているかもしれない(ある年は、全員、その時にやっている作業をやめて休憩する時間があったと記憶している)。スタッフは短時間ながら休憩があったが、参加者の方は休憩に行けていたかどうか、あまり気にかけることができず申し訳なかったと思う。今年はスタッフであるということ、少しプレッシャーもあった。しかし、全体的には楽しめたので良かったと思うし、無事に終わってホッとしている。

メディア掲載

- さくらFM サウンドハーバーに出演(事前収録)
2017.5.26 23:00-23:58
- 朝日新聞 2017.5.28朝刊
- 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会発行 福祉の情
報誌「きずな・KOBÉ」第16号（2017年7月発行）
に掲載予定